

第2回 那須塩原市庁舎建設市民検討懇談会 会議録（要旨）

開催日時：平成26年8月1日（金） 午後2時から午後4時30分

開催場所：那須塩原市本庁舎3階303会議室

出席した委員：15名

欠席した委員：1名

事務局：企画部企画情報課 5名

傍聴者：なし

報道機関：2社

1 開 会（午後2時）

2 会長あいさつ

3 協議事項（進行：三橋会長）

(1) 本庁舎における課題について（庁舎見学含む）

事務局の案内にて本庁舎を見学

会 長： 皆様、庁舎見学、大変お疲れ様でした。

まず、「(1) 本庁舎における課題について」から協議したいと思います。

たった今、1階から4階まで本庁舎の御見学を頂いたところですが、私も改めて本庁舎を拝見してみると、特に、1階の高齢福祉課や社会福祉課付近の通路がだいぶ狭いと感じました。この状況で車椅子の方が来庁された場合には、職員の方が介助しないと交通整理もままならないのではないかと思います。

本日の会議については、公開ということで進めさせていただきたいと思います。

それでは、「(1) 本庁舎における課題について」事務局から説明をお願いいたします。

事務局：（「参考資料」に基づき説明）

会 長： 事務局から、参考資料に基づき説明がありました。内容としては、常時、本庁舎で仕事をしている市の職員、それから、市の職員が訪れた市民の方か

らの苦情を含めた御意見について、まとめたとのことでした。

まだまだ、いろいろな観点から御意見もあるかと思えます。重複しても構いませんので、委員の方々から本庁舎に対しての意見、あるいは市庁舎の本来あるべき姿など、いろいろな観点から御意見を頂戴したいと思います。

本題ではないかもしれませんが、那須塩原市が最近の都市の住みよさランキングにおいて、栃木県内で最も高い順位となり、住みやすいところであると評価されていました。しかし、ランキングにおいては、市庁舎が少し足を引っ張っているということがあるかと思えます。

それでは、順番に、本庁舎の見学をした感想なども交え、率直なところで御意見を賜りたいと思えます。

委員： 提案があります。いま、事務局から参考資料に基づき1番から8番まで説明があったため、参考資料の1番から順に1つずつ庁舎見学をした感想を交え、委員の意見を伺った方が良くと思うが、いかがですか。

会長： 委員から御提案がありましたが、皆様、いかがでしょうか。

委員： 先ほど事務局から、参考資料については、市民の目線での課題ということでの説明があった。数えると全部で103件あるが、これらの課題は、聞いたことなのか、それともアンケートなどによる結果なのか。これらの課題を抽出した方法が分らないと、検討しにくいと思うので、事務局に確認をしたい。

会長： 事務局から補足説明をお願いします。

事務局： これらの意見は、アンケートによるものではなく、窓口等で市民の方からいただいた御意見や職員が窓口業務等を行う中で、市民の皆様が感じているであろうという課題や問題点などをまとめたものであります。

委員： 分かりました。先ほど委員から提案があった件についてですが、事務局が抽出した課題はどれも重要な課題であるため、新庁舎の建設を検討するに当たり、必ず検討や解決しなければならないものであると思う。

そのため、この懇談会では、1つひとつの課題についての検討ではなく、むしろ大きく見た形で課題を出さしていただけに思いますが、いかがですか。

会長： 対案の御意見がありましたが、皆様いかがいたしましょうか。私は、事務局でまとめた枠組みの中に委員の皆様の御意見を当てはめるのは、折角の皆様の御意見が、少し窮屈になるのではないかと思えます。そのため、今回に

については、1人ずつ順番に自由な形で意見を賜る形で進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員：異議なし)

会 長： それでは、恐縮ですが、1人ずつ順番に自由な形で意見を賜る形で進めさせていただきたいと思いますので、順番によろしくお願いいたします。

委 員： 事務局から説明があった課題については、常日頃から感じているが、その中でも、本庁舎においては、市民交流スペースが不足しているということが課題として挙げられる。先日、他自治体から本市への視察研修があり、対応することとなったが、市庁舎では対応することが出来なかったため、あちこち会場を移動しなければならなかった。しかし、他自治体の市庁舎を見てみると、市民が集まれるようなスペースがかなりある。

また、本日、庁舎見学をさせてもらった感想としては、正面玄関を入ってからのスペースが狭く、全体が見渡せないため、どこへ行ったらよいかわからないと強く感じた。

委 員： 私は、常日頃から庁舎に出入りしている立場にあるが、今日、改めて普段と違った角度で庁舎を見学してみると、なるほど庁舎が狭いと感じた。

庁舎内は、かなり複雑化しており、適正な事務に支障をきたしたり、市民の方々にもいろいろな面で迷惑をかけたりしているのであろうと感じた。

この庁舎は、合併における現在の人口規模を想定している建物ではないことや、構造、老朽化などの根本的な問題がある。こうした現状を見ると、本庁舎を増改築して、これから先もこの本庁舎でやっていこうという考えにはならなかった。

委 員： 先ほど、本庁舎を見学させていただいた感想としては、窓口業務に関するものとして、大変広いスペースが必要になると思った。

私は、市民が多く利用する窓口については、現在の様に細切れとした窓口ではなく、円卓でぐるっと回れるような窓口が良いのではないかと思う。

なお、窓口等で手続きや相談をしている間、子どもや高齢者を一時的に預けられる場所が必要であると考えます。

また、待合スペースにおいては、職員も市民も利用することが可能な軽食が取れるスペースとコンビニを庁舎に設けたらよいと考える。

次に、構造的な問題としては、足の悪い方などのためにエスカレーター、車いすの方などのためにエレベーターが必要と考える。

次に、防災上の問題としては、多くの市民が避難することが可能なスペースが必要である。本日の新聞に栃木県内で初めて可動式の議場を設置するという他自治体の記事が出ていた。懇談会では、このようなことも検討し、新庁舎では、多くの市民が避難できるスペースを確保する必要がある。

併せて、太陽光発電の活用や長期間対応可能な自家発電装置の設置、緊急時の公用車や市民が駐車することができる地下駐車場の設置などが必要である。

さらに、本市では、子育て交流広場が分散しているため、市全体で子育て交流ができる環境や場所が必要である。

委員： 私は、良く庁舎に伺うが、すごく庁舎が狭く、どこに何があるのかが分らないことに加え、階段の場所が分りにくいと感している。

また、庁舎の位置については、西那須野地区や塩原地区から非常に遠いため、新庁舎を建設する場合には、地理的なものも考慮していただきたい。

先ほど、別な委員からも話があったが、本市には、多くの市民が交流できる場所が公民館にしかないため、他自治体から本市への視察研修等があった場合などについては、市庁舎の中で対応できれば良いと感している。

委員： 私が、本庁舎に初めて来たのは、ちょうど10年前になる。その時、非常に驚いたことが、2つあった。

1つは、庁舎が狭いということ。もう1つは窓口のカウンターの上に書類が山積になっていたことである。現在、書類については、ずいぶん整理されているが、書類を整理する場所が別に必要ではないかと考える。

窓口については、相談の内容によって、窓口等で他人に聞かれない相談もあるため、現在は、ついたてがあるものの、個別に相談が出来るスペースや相談室等が必要である。

また、福祉関係の窓口については、車いすの方や障害者の方、子ども、高

齢者などが多く来庁する場所となるため、他の窓口よりも広いスペースが必要である。

委員： 4階にはかなり広いスペースがあるにもかかわらず、議会事務のために、常時、場所を確保しておかなければならないことが疑問である。市役所が市民のための施設だとすると、4階は、市民の代表者である議員がいる場所であることは分かるが、滅多に使う場所でないと思うので、もっと有効に活用すべきである。本庁舎は狭いため、4階の広いスペースを使って、食事をしたり、様々な相談などを行ったり、もっと有効に活用することが出来ると考える。

また、市役所の会議室を見てみると、会議室ごとの設備や備品に差があると感じた。

一方で、子育てについて考えると、それぞれ近くに子育て広場的なものがあれば利用しやすいが、1カ所に集中してしまうと、小さい子どもを連れての移動は難しいため、利用しにくいということも考えられることから、機能を分散することも必要ではないかと考える。そのため、新庁舎の建設を検討するに当たっては、利用する人たちが利用しやすいように、庁舎の中で働く人たちが働きやすいように、様々な視点で検討すべきである。

新庁舎建設の検討に当たり、最も大切なことは、利用する市民にとって利用しやすい空間や配置ではないかと思う。

会長： この件については、那須塩原市に限らず、どこの自治体においても議長室や委員会室などの議会関係のスペースが割り振られており、普段、市民の方がその一部でも使用するのには難しい状況にあるのが現状かと思います。

先ほど、可動式の議場の話がありましたが、これにつきましては、議会が開かれていない場合に限り、場合によっては市民の方がイベント等で使用することができるという趣旨であると思います。

このことについては、懇談会の中でも、庁舎のあり方として検討していきたいと思っています。

委員： 私は、役所というと、どうしても書類が多いというイメージが常にある。最近では、整理されたという話もあったが、まだまだ整理整頓がされていない

いと思う。やはり、庁舎が狭いということが先に来ていて、今の場所をどれだけ有効に活用するかを検討しなければならないと思う。

また、確かに支所が離れているという課題もあるが、合併したことにより2つの支所ができたが、これを適材適所に配置すれば、必ずしも本庁舎が狭いということではないと思うので、新庁舎にスペースを設けたとしても、今のままの整理整頓では、現在と同じことになってしまう。

民間企業では、作業の効率化のため、ムリ・ムラ・ムダ、それに、5Sといわれている整理・整頓・清掃・清潔・躰を行っているが、これらをもっともっと市役所は行った上で、新庁舎のあり方を考えた方が良い。

それから、鹿沼市が平成20年度、佐野市が来年8月の完成を目指し新庁舎の建設をしているという新聞記事を見た。これらの市役所についても、那須塩原市と同じような課題があった中で、新庁舎を建設したと思うので、これらの庁舎が完成した暁には、現状の課題がどのように解決されたかというような視点で視察させていただければありがたい。

視察に関して言えば、以前、福島県の伊達市役所に行ったことがある。伊達市では、市民が良く利用する場所については、オープン化でガラス張りにし、非常に明るいものとなっていた。新庁舎建設に当たっては、予算的なこともあるかと思うが、省エネルギー化も考えながら、このようなオープン化についても検討したらよいのではないかと思う。

委員： 私もよく市役所に訪れるが、本庁舎については、以前から狭いという気持ちがあった。市の他庁舎はどうかというと、西那須野庁舎は、正面玄関から入るとすぐにフリースペースがあり、その向かい側に窓口カウンターがある。そのため、玄関から入ると全体を見渡すことが可能なため、市民にとっては使いやすいのではないかと思う。

先ほど、事務局からの説明にもあったが、課税課と収税課が分れているといったような分散という課題については、現状の課題をしっかりと整理した上で、関連する課どうしが連携した市民サービスが出来るようにしていただきたい。

委員： 事務局から説明があった課題については、人口が約2倍となったため仕方

がないものであると思う。個人的には、個別個々の課題について言及することは良い方法ではないと思うため、市民側からの目線と職員側からの目線で相反する部分もある点について、具体的に検証すべきであると思う。

しかし、これらの課題については、スタンダードな課題であると考えられるため、同じような規模の自治体の事例を参考にすれば、ほぼ解決出来るのではないかと考える。それを踏まえてその上で考えるべきことは、2つある。

1つは、限られた予算と敷地面積において、プライオリティをどうするかということ。もう1つは、那須塩原市の特性や将来性を活かした付加するものをどうするかということである。

例えば、先ほど庁舎見学をして思ったが、案内表示が日本語ばかりであった。ローマ字での案内表示もあったが、どういう必要性があるのかが、疑問に感じた。将来において、那須塩原市が国際化を目指すとするのであれば2カ国語表記をするなど、那須塩原市なりの付加価値について検討する必要がある。

一方で、市庁舎の位置や市における性格付けなど、市庁舎に入るまでの課題というものもある。

委員： 庁舎を見学した後の感想としては、雑然としていて、収納スペースなどに苦慮していることが感じ取れた。現在の課題については、現在の建築基準法などに当てはめていくと、自然と解消される課題も多いかと思う。

新庁舎建設に当たっては、庁舎が移転するということが最も大きな変化であると思うため、駅から近いということなどを最大限に活かした庁舎を建設していただきたい。

一方で、現在の本庁舎や西那須野庁舎などの建物を壊してしまうのか、利活用していくのかなどについて、併せて伺っていきたいと思う。

また、みるメールの活用や学校などを通じたアンケートの実施など、様々な市民の意見を聞くことなどしたら良いのではないかと思う。

委員： 私も、先ほどの意見にもあったとおり、西那須野庁舎の方が使いやすいと感じている。

今日、本庁舎を見学して、確かに狭いと感じた。玄関を入れてどこに何が

あるか見渡せないため、窓口案内の職員がいないと困ってしまう。

その他、書類が乱雑になっていることや折りたたみ椅子が常時設置されていたことも気になった。折りたたみ椅子については、必要な時に設置した方が、通路の狭さも解消され、市民も利用しやすいのではないかと思う。

様々な課題はあるものの、新庁舎がすぐに出来るわけではないため、新庁舎だけに頼るのではなく、新庁舎建設時のプラス材料となるように、現在の本庁舎で整理が可能な課題について、検討していかなければならないのではないかと感じた。

また、新庁舎の位置については、子育て中の方や高齢者の方にも配慮して検討いただきたい。

会 長： いろいろな観点で、現本庁舎が抱えている課題や新庁舎建設時における課題について頂戴いたしました。市側の委員で、補足など御意見等があれば、お願いします。

委員（市）： 委員さんからのいろいろな御意見の中に、乱雑であるという意見がありました。確かに、この点については、新庁舎がどうこうではなく、明日からでも取り組んでいかなければならないと感じたところです。また、接遇についても向上していかなければならないと感じました。

委員（市）： 今回の課題にもあるように、分散という課題については、道路関係の手続きを例にとると、本庁舎だけでは用事が済まないため別棟の東庁舎にも行かなければならない。また、上下水道部との関連があるため、西那須野庁舎にも行かなければならないこともあり、利用者にとって大変、不便ではないかと感じております。

そのため、市民が利用しやすい庁舎が出来れば良いのではないかと考えております。

委員（市）： 4階がなぜあんなに広いのかという御意見がありましたので、議会の役割について、簡単に御説明させていただきたいと思います。議員は、市民の投票により選ばれ議員活動を行う。議員活動の中には、行政の監視や政策の監

視、議決権などがあり、これらの事務や調査等を行うためのスペースとして委員会室があります。この庁舎は昭和58年に建設されましたが、1階から3階までは、合併して11万7千人の人口に対応するための事務や容量が詰まっている反面、4階の議会棟については、建設当時のままとなっています。そのため、現在は一定のルールを作り、委員からも意見がありましたとおり、委員会室が空いているときには、関係課と調整し使用出来るようにしています。

新庁舎建設の検討に当たっては、議場についても市民の皆様にもいろいろ御意見を頂きながら進めていきたいと思っております。

会 長： 委員の皆様方からいろいろな御意見がありましたが、私は建築を専門としていますので、皆様から出ていなかった点で意見を述べさせていただきたいと思えます。

庁舎見学をした感想として、高齢者や子育てをされている方にとっては、使いづらいのではないかと感じました。特に、明るい場所と暗い場所の差が大きすぎることや階段の段差が急であることなどについては、高齢者の方にとって、非常に歩きにくい現状があると感じました。

階段については、非常階段としても利用することになるので、もう少し段差を低くするなどの対応が必要であり、総じて、バリアフリー対応への課題が多いと感じました。

設備的な部分については詳しくは分からないものの、おそらくいろんな意味で効率が良くない部分があると思えます。現在は、気密性や断熱性などにおける技術進化が進んでいますが、30年前の建物ではこれらの性能が良くないため、推測ではあるがランニングコストが新しい建物に比べて、多くかかっているのではないかと思います。

会 長： 他の委員からの意見を聞いた上で、追加での御意見や質問等はありませんでしょうか。

(委員：特になし)

(10分間休憩)

(2) 新庁舎に求めるサービス内容について

- 会 長： 休憩前に引き続きまして、会議を再開したいと思います。
- 「(2) 新庁舎に求めるサービス内容について」ですが、先ほどの御意見と重複するものもあるかとは思いますが、御意見がある方は、挙手をお願いします。
- 委 員： 新庁舎の1階部分には、届出や申請に関する窓口や高齢者関係や子育て関係の窓口を配置し、1カ所の窓口で全ての用事が済むようにワンストップサービスの対応を取ることで、併せて、正面玄関入口付近には、ある程度のスペースを設けることが望ましい。
- また、時代背景を考慮し、周辺環境に配慮した緑のある空間を十分に取り入れることが望ましい。
- 委 員： 新庁舎が出来た場合には、市民はどこにどの窓口があるかわからないと思うため、音声案内機能やボタンを押すと場所を表示する機能などを備えた案内パネルを設置するサービスの必要性であると思う。
- 委 員： 今の本庁舎を含めた支所を今後どうするかを検討しなければならないと考える。現在、県内14市町には、市民活動センターというのがある。これからは、ボランティア活動やNPO活動などで利用する市民等が増加すると思うので、これから市民の力を有効に活用するためには、こういったセンターが必要になると思う。新庁舎が良いのか現存の庁舎、支所が良いのかはわからないが、こういった視点からも市民のサービスについて検討してはどうか。
- 会 長： 私も、市民活動に多少かかわっているため、実情をお話しさせていただきますと、大田原市が今年の4月に整備したものの県北地区に関しては、市民活動センターの整備が進んでいない状況にあります。新庁舎建設を検討するに当たり、関連する課題であると思います。
- 委 員： 私も、市民活動センターは必要だと思う。
- 新庁舎には、小休憩するスペースや子どもを預けて相談や申請などの手続きを行える環境など、高齢者や子どもを連れて来庁した方が利用しやすい環境が必要だと思う。このような場所は、市民交流の場にもなるのではないかと

思う。

会 長： 昔は、市役所という言い方をしていたが、現在は、市庁舎という言い方が頻繁に使われるようになってきました。英語の辞書で見ますと、市役所は「Government office」とあり、まさに市の職員が事務を執るためのオフィスという意味合いであることに對し、市庁舎は「City office」とあり、いわば市民が気軽に立ち寄り、交流やイベントなどにも活用できるというニュアンスがあります。今後の市庁舎のあり方は、行政サービスとしての執務空間の充実はもちろんですが、そこだけではなく、市民活動や市民交流の場、防災の拠点、避難所などの多機能な位置づけが必要になってきていると思います。そのためには、ある程度の面積が必要になると思います。

面積については、先ほど委員からの意見に整理整頓という御意見もありましたが、広ければいいというものではないため、効率よく収納するとういうスタイルを行政としても身に着ける必要があると思います。そのため、この点については、市内部での検討はしているかと思いますが、懇談会の意見として庁内に伝えていただければと思います。

委 員： 市役所に喜んで来る人はいないと思う。市庁舎には、ワクワクしながら来ることはなく、しかたがないから来るものである。これは、本来の性格として仕方がないことだと思うが、大きなお金をかけて建物なり、周辺を入れて小さなまちをつくるということであれば、本末転倒かもしれないが、市庁舎に附随するようなものを楽しく考えたらどうかと思う。もちろん、合理的な使い勝手の良いものを考えるが、使い勝手が良いからといって楽しいというわけではない。そもそも市庁舎にはなるべく行きたくない場所であるが、必要な場所であるため、市庁舎に行かなければならないのであれば、何かのついでに用事が出来る場所にしたいと思う。

委 員： 今の意見に関連することで、コンパクトシティというのがあるが、位置づけとしてはどうなのか。

会 長： コンパクトシティといった場合には、公共交通ということが一番大きな課題となります。宇都宮市を例にとると、LRTがありますが、公共交通と市民が住む場所を出来るだけ関連づけることや市庁舎をはじめとした公共施設が公共交通と絡んで、自家用車に頼りすぎず、いろんな公共施設が使えると

いったことが重要であると思います。

委員： 市民目線で考えると、新庁舎については、那須塩原市らしい利用方法や空間とかで建てられれば良いのではと思う。

また、市民が気軽に新庁舎に求める意見など出していただける方法を取れるなどし、市民の意見を懇談会に取り入れられると良いと思う。

会長： 私も強くそう思っています。新庁舎建設にとっては、市民の方々の関心を高め、みんなで議論するということが重要であると思うため、懇談会での議論をいろいろな手段を通じて、正確に市民の方々に伝え、理解していただくことが必要であると思います。また、先ほど委員の方からアンケートについての意見がありましたが、市民の意見を聞く手段として、ホームページ上で意見を聞くという方法もあるかと思いますが、インターネットを利用する方に限られてしまいます。アンケートの実施につきましては、様々な方法があるかと思いますが、この点につきまして、事務局いかがでしょうか。

事務局： 第1回市民検討懇談会の内容につきましては、広報なすしおぼら7月5日号に特集記事を掲載させていただきました。

市民の声を反映するものとして、この懇談会をその1つとして位置付けており、今後も引き続き広報やホームページなどで市民の皆様方への情報提供をしていきたいと考えております。議会本会議の場においても、議員の方から市民のコンセンサス等々ということで質問を頂きましたが、アンケートという方向性ではなく広報等での周知に努めるという形で進めていきたいと考えております。

会長： 今後、市民の方の御意見を頂くためのパブリックコメント等を実施する予定はありますでしょうか。

事務局： 状況に応じて、パブリックコメントなどを実施していきたいと考えております。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 現庁舎のトイレを利用すると、トイレで歯磨きをしている職員が見受けられるが、衛生上から見るとよくないと思う。庁舎が狭く場所がないため仕方がないと思うが、新庁舎については、職員が利用するスペースと来庁舎用の

スペースを分けた方が良い部分もあると思う。

それから、障害者用トイレに関しては、現在の障害者用トイレには、ベッドが設置されていないため、新庁舎においては、多くの障害者の方に対応可能なようにベッドを設置していただきたい。また、洋式トイレについては、洋式を嫌う方もいるので、全てを洋式トイレにしなくてもよいと思う。

会 長： 新庁舎については、市民サービスへ支障をきたさないような工夫をしなければならぬと思います。その他、いかがでしょうか。

委 員： 先日、議会においても庁舎建設検討特別委員会が設置されたと思うが、庁舎建設検討特別委員会の内容については、公開されるのか。

委員（市）： 6月の議会で庁舎建設検討特別委員会が設置され、継続的に審議し市長に提言するという活動をしています。議会は、3月及び9月議会の後に議会報告会を開催していますが、その折に、特別委員会の活動として委員の皆様アナウンス、結果報告等をさせていただきたいと思っており、議会報告会は、市民の皆様との意見交換の場という性格もありますので、この懇談会とは別なルートで市民の御意見を伺いながら、市長に提言していきたいと思っておりますので、議会特別委員会にも意見等を頂けるとありがたいと思います。

会 長： この懇談会と並行して進むということによろしいでしょうか。

委員（市）： その通りです。

委 員： 議会だよりには、掲載しないのか。

委員（市）： 議会だより編集委員会へ本日頂いた御意見を伝えたいと思います。貴重な御意見ありがとうございます。

会 長： その他、いかがでしょうか。

委 員： 先日、自分が参加している団体において、新庁舎建設の話をしたところ、様々な意見があった。庁舎建設については、市民の様々な意見や思いがあると思う。この懇談会だけでは、市民の意見を幅広く集約出来るとは思えない。幅広く市民の意見を取り入れる方法として、新庁舎を建設する建設しないの視点ではなく、新庁舎を建設することを前提としたアンケートなどを実施する必要があると思うが、いかがなものか。

委員： この懇談会を重視していると思うので、私としては、多くの市民から意見を聞き、懇談会で伝えたいと思っている。

事務局： この懇談会の委員の任期については、基本的に2年としているため、平成26年度と27年度の2ヵ年で皆様の御意見を伺いながら、新庁舎建設の基本計画を作っていきたいと思っております。基本計画には、今、お話に出ている市民の皆様が求めているサービス内容や庁舎を拠点としたまちづくりに関する事項などに加え、財源的な事項、場所などが加わると思います。

今年度の中では、基本計画を作る前の骨格的な事項をまとめる必要があると思っておりますが、本日の懇談会で頂きましたアンケートを実施してはどうかという御意見につきましては、検討させていただきたいと思っております。

会長： アンケート的なものの実施については、次回の懇談会の中で、実施するか否かも含め、事務局案の考えをお示しいただくということによろしいでしょうか。

事務局： 次回には、お話しさせていただきたいと思っております。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 新庁舎を建設した場合、それぞれの支所にある本庁機能は全て新庁舎に集約するということになるのか。

事務局： 分散化して使いにくいという現状があるため、西那須野支所にある教育部と上下水道部については、新庁舎に集約することを考えております。

支所をどうするかについては、当然のことながら、皆様の御意見を伺うこととなりますが、事務局としては、西那須野支所と塩原支所については、組織を含めて存続すべきではないかと思っています。

委員： 支所がなくならないということで、安心した。特に、西那須野支所にある教育部と上下水道部の跡地利用については、この懇談会以外の場で検討する予定なのか。

事務局： 跡地利用については、この懇談会において、委員の皆様の御意見をお聞きしたいと考えております。

委員： 西那須野庁舎については、先ほど話の合った市民活動センターなど、いろいろな使い道があると思う。

会長： その他、いかがでしょうか。

会 長： 本日の御意見等につきましては、事務局の方で整理していただき、次回の懇談会に向けて準備をお願いしたいと思います。それでは、「(3) その他」に移りたいと思います。事務局からお願いします。

事 務 局： 今後のスケジュールについて、御説明させていただきたいと思います。

第1回懇談会の際に、大まかなスケジュールについてお話しさせていただきましたが、若干変更がございます。次回につきましては、現在のところ、9月25日に開催を予定しております。

なお、第4回の懇談会は、視察研修になりますが、10月31日で計画をしていきたいと思っております。日程については、現段階での予定となりますので、確定次第、改めて委員の皆様にご通知させていただきたいと思っております。

委 員： 次回の会議に関する資料や本日の会議録については、各委員へ郵送していただけるのか。

事 務 局： 次回の会議に関する資料につきましては、事前に送付させていただきたいと思っております。会議録については、会長との調整が出来次第、市ホームページで公開し、委員の皆様にも送付させていただきたいと思っております。

会 長： その他、いかがでしょうか。この懇談会に関する進め方等で御意見がありましたら、お願いいたします。

委 員： 7月5日号の広報を拝見させていただきましたが、内容が硬い感じがしたので、もう少しやわらかい感じの方が良いのではないかと思います。

事 務 局： 広報については、図や写真を挿入するなどし、広報の担当部署と調整し、読みやすく分かりやすい記事を掲載させていただきました。

委 員： なんとなく新聞を読んでいるような感覚がある。

事 務 局： 御意見として、賜ります。

会 長： その他、いかがでしょうか。

会 長： 無いようでしたら、本日の協議事項は終了しましたので、閉会とさせていただきます。御協力、ありがとうございました。

4 閉 会 (午後4時30分)